※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	（学）韓国・朝鮮語を学ぼう（土曜講座）	1	全学年	なし

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

土曜講座開講にあたり、「開かれた学校」として韓国朝鮮語の学習を希望とする人を対象にした科目です。必要な語力を身につけるための授業を行います。

２　学習の到達目標

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	韓国朝鮮語にしかない母音の音、子音の音を聞くことができる。	基礎的な単語を読むことができる。	挨拶をし、挨拶を返すことができる。 周りの人の紹介	簡単な語句や文を用いて、自分を紹介できる。	基本的な単語や語句を正確に書くことができる。

３　学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	たくさんの語彙を覚え、伝えられることを多くする。ハングル文字を学習し、日本にあるハングル表記が読める。	学習したことを生かし国際関係を考えたり、相手にわかりやすく日本の文化を相手の言葉で伝ええたりできる。	韓国朝鮮語・韓国朝鮮文化への認識と理解を深めることにより,積極的に韓国・朝鮮人に関わったり、自分にできることを考えたりする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
後期	ハングルの仕組み	聞くこと	a. 日本語と違う母音の音を聞くことができる。 b. 挨拶を聞き取ることができる。	リスニング小テスト
		読むこと	a. 文字の成り立ちを理解し、発音することがで b. 発音し続けようとする。	リーディング
		話すこと（やり取り）	a. 学習した単語を１つ以上用いて、やりとりできる。 b. 挨拶を声に出してやり取りできる。 c. やり取りを続けようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a. 文字の成り立ちを理解し、母音字だけの単語を書くことができる。 b. 読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング小テスト
	基本的な母音と子音 位置関係の表し方	聞くこと	A. 文字の成り立ちを理解し、母音字と組み合わせたときの音を聞き取ることができる b. 基本的な母音字と子音字を組み合わせでできた単語を聞き取ることができる。 c. 必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニング小テスト
		読むこと	a. 文字の成り立ちを理解し、母音字と組み合わせたときの音を読むことができる a. 基本的な母音字と子音字を組み合わせでできた単語を聞き取ることができる。 ｃ．発音をし続けようとする	リーディング
		話すこと（やり取り）	a. どこに住んでいるか、何が好きか、誰が好きかのやりとりができる。 b. 習った単語を１つ以上韓国・朝鮮語で発音し、やり取りができる。 c. やり取りを続けようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a. 好きなものや、住んでいる場所を発表できる b. 学習した語句、文を用いて主体的に話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a. 基本手的な母音と子音を組み合わせた文字を書くことができる b. 読み手に配慮しながら書こうとしている。	ライティング小テスト
	文字の発音	聞くこと	a. 平音と、激音、濃音の違いを聞き取ることができる。 b. 激音や濃音が入った単語を聞き取ることができる。 c. 必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニング小テスト
		読むこと	a. 平音と、激音、濃音の違いを理解し発音できる。 b. 激音、濃音が入った単語を理解しながら読むことができる。	リーディング

※令和４年度以降入学生用

		話すこと（やり取り）	a.　行きたいところ、食べたいものをペアで聞きあうことができる。 b. 激音や濃音の単語が入った文章を使うことができる。 c. やり取りを続けようとしている。	スピーキングテスト
		話すこと（発表）	a.　自分の行きたいところ、食べたいもの、自分が見たものを話すことができる。 ｂ．話そうとし続ける	スピーキングテスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度